

## 令和4年度 徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」議事概要

1 日 時 令和4年8月4日（木）14時00分～15時30分

2 場 所 グランヴィリオホテル ヴィリオホール

3 出席者 <委員>

濱尾 重忠（座長）（敬称略，以下同）

粟飯原 一平

坂田 千代子

真鍋 恵美子

中西 美月

<企業局>

板東企業局長，中川副局長，古井次長，

生田総合管理推進センター所長

大久保経営企画戦略課長

大森政策調査幹

井内事業推進課長

河井施設基盤整備室長

十川自然エネルギー事業化担当室長

4 会議次第

（1）開会

（2）企業局長挨拶

（3）議事

①令和3年度決算概要について

②企業局経営計画の令和3年度進捗状況及び評価について

③企業局経営計画 前半5ヶ年の総括について

④その他

【配布資料】

資料1 令和3年度決算概要について

資料2 「企業局経営計画の令和3年度進捗状況及び評価」について

資料3 企業局経営計画 前半5ヶ年の総括

参考 徳島県企業局経営計画（平成29年3月策定）

5 議事概要

（1）議題1 令和3年度決算概要について

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

（2）議題2 企業局経営計画の令和3年度進捗状況及び評価について

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

- (3) 議題3 企業局経営計画 前半5ヶ年の総括について  
配布資料に基づき、事務局から説明を行い、質疑応答。

<質疑応答>

議題1 令和3年度決算概要について

【委員】

4事業全体では利益が増加しているのはすばらしい。駐車場事業は赤字だが、それ以外は順調に経営できていることと思います。

駐車場事業はどうしても新型コロナウイルス感染症の影響を受けるのだろうと思うが、新しいシステムの準備もできているということで、それにも期待したい。

企業局では駐車場事業は赤字であったが、指定管理者においてもリスクがあったように思います。固定納付金について、指定管理者の納付額減額にはどのような配慮をされましたか。

【企業局】

県の組織として令和2年度、3年度についてコロナ対応の減額及び免除の支援措置を実施しています。減額の基準としては、コロナ前の令和元年度と比較しまして、料金収入の減少率が30%～50%未満であれば、固定納付金を半額免除、50%以上なら全額免除としています。令和3年度の第1四半期は全額免除を行い、第2、3、4四半期は半額免除を行っております。

【委員】

令和3年度の損益は、駐車場事業で赤字はあるもののその赤字額も減少しており、令和2年度と比較しても安定した経営ができているのではないかと考えます。

質問としては、令和3年度の駐車場利用台数は9月に対して10月、11月、12月は増加し、2月以降、減少していますが、その理由は何になりますか。

【企業局】

松茂駐車場は高速バスを利用するお客様が使われることが多いため、コロナの影響もあり駐車台数の増加が難しい状況であります。

藍場町地下駐車場の利用台数は、藍場浜公園や郷土文化会館でのイベント開催回数に大きく影響されます。令和3年の10月、11月、12月は令和2年と比べてイベントが多く実施されたことにより、利用台数が増加したものと思われまます。

なお、今年度の駐車台数はコロナ前の令和元年度と比較すると、未だ届いてはいないが、近い水準まで戻ってきています。

【委員】

電気事業はしっかりと利益が出ていることがわかりました。電気事業には、水力と太陽

光の2つがあり、太陽光は中々厳しいという話が出てきています。太陽光発電事業個別の損益は資料に無いが、どのようになっていますか。

また、工業用水道事業の他会計借入金は電気事業からのものになりますか。

**【企業局】**

お見込のとおり、工業用水道事業が概ね電気事業から借入を行っています。

**【企業局】**

太陽光個別の損益については、令和3年度は9,300万円の黒字となっています。また、令和元年度からの直近3ヶ年平均では8,000万円程度の収益が出ているという状況です。

**【委員】**

工業用水道事業は現金預金が31億円ありますが、他会計からの借入は必要でしょうか。

**【企業局】**

今後も、設備の老朽化対策などに多額の費用を要するため、他会計からの借入を活用しながら適切に進めて参りたいと考えています。

**【委員】**

他に質問ないですか。では次の議題に移りたいと思います。

議題2 企業局経営計画の令和3年度進捗状況及び評価について

**【委員】**

良い結果が出ておりすばらしいと思います。B評価の項目もあと少しというところが多く、C評価の駐車台数も改善傾向にあるということで安心していきます。

次年度以降は、より社会貢献に関する取組を考えていただけたらと思います。また、民間ではできないような新たな取り組みに対して、投資していけば良いのではないかと思います。

C評価の駐車場についての質問ですが、キャッシュレス決済を導入したことの反響はどうでしたか。

**【企業局】**

令和2年度に照明のLED化を進めるとともに、松茂駐車場ではキャッシュレス化も開始し、令和3年度には利用カードの拡充を行いました。今後は、藍場町地下駐車場で車番認識システムというスムーズな入出庫、支払いが可能となるシステムを導入予定です。

利用者に対しアンケート調査を実施していますが、松茂駐車場ではアンケートの回答が少なく、キャッシュレス化に対するご意見が得られていない状況であります。社会全体でのキャッシュレス化を進める動きの中で、利用者の利便性は向上していると考えています。

藍場町地下駐車場では未だキャッシュレス決済を導入できていませんが、アンケートに

よりもすと回答者の約2割が、キャッシュレス決済・チケットレスシステムの導入について要望されています。そういった利用者のニーズに応える形で、今後も取り組んでいきたいと考えています。

**【委員】**

どれぐらいの利用者が、キャッシュレスを利用されていますか。

**【企業局】**

令和4年3月の利用割合は前年に比べ2倍以上に増えています。

**【企業局】**

令和4年7月の利用状況としましては、全体の利用料金のうち9.2%にキャッシュレス決済が利用されました。周知が進めばもっと拡大していくものと考えています。

**【委員】**

No. 20, 21 施設の老朽化対策・耐震化について、A評価ではありますが、電気事業・工業用水道事業は設備産業であるので、老朽化や震災による障害が考えられます。整備の目標は達成できているようではありますが、老朽化対策・耐震化に関する長期的な計画を考えていますか。

**【企業局】**

平成19年に耐震対策の診断を実施して、それを基に耐震化工事を行っています。また、設備には種類があり、人が入る発電所等の「建築物」と「土木施設」に分類しています。

「建築物」に関しては、既に耐震化を全て終えています。もう一つの「土木施設」のうち電気事業施設については、擁壁・水圧鉄管・水路橋などの土木構造物がありますが、耐震診断を行った16施設のうち14施設は耐震化が完了しています。残る2施設は、川口ダムの「ゲート」と「門柱」になりますが、耐震化には非常に多額の費用がかかるものであり、仮に震災し破損した際も、全体が倒壊することはないと診断されています。将来的にはそういった箇所も、予算を組み入れ耐震化していきたいと考えています。

「土木施設」のうち工業用水道の管路については、全長が約48kmありますが、そのうち優先度の高い箇所8.4kmを抽出し、10年間で計画的に耐震化・老朽化対策を行ってきました。今後、診断結果を踏まえ計画を検討し、老朽化・耐震化対策を実施していく予定です。

**【委員】**

A評価が84%と多く、B評価もあと少し、C評価の駐車場利用台数の減少はやむを得ないものと考えられるため、順調に経営できていると思われれます。今後、活気が戻り駐車場の利用台数が増えることを願います。

**【委員】**

県営の駐車場はこの企業局が経営しているこの2カ所だけでしょうか。他の部局が経営しているものはありますか。

**【企業局】**

県土整備部都市計画課が経営している駐車場もございます。

**【委員】**

そもそも駐車場事業は企業局が行わなくてもよい事業ではないかと感じます。

**【委員】**

小水力発電の普及促進における市町村への導入支援についてお聞きしたい。東京の方では電力不足が問題となっています。最近では節ガスということも出てきています。その対策として、小水力発電を市町村に展開していくことは良いことだと思いますが、これが進まない理由は何になりますか。

**【企業局】**

主要な河川には既に電力会社や企業局の水力発電設備が設置されており、大規模の水力発電の新規開発は難しく、今後開発の可能性が残されている箇所は、規模が小さい小水力発電に限られています。小水力発電は、スケールメリットが得られにくく、投資分の回収がなかなか難しいと考えられます。

また、徳島の気候では春先における雪解け水による河川流量増加が期待できず、さらに降雨がある時期は限られています。このため、年間を通した安定した発電ができず、このことからなかなか採算がとれにくいと考えられます。

しかしながら、水力発電は水が流れていれば発電可能であるため、災害時の電力としての活用が期待できることや、輸入資源に頼らない純国産エネルギーであることなど多くの優れた特徴を有しているため、今後も市町村と連携し、導入を支援して参りたいと考えています。

**【委員】**

本議題について承認してよろしいか。異議が無いため承認します。

議題3 企業局経営計画 前半5ヶ年の総括について
--------------------------

**【委員】**

川口ダム湖のウォータースポーツの拠点化で、ドイツカヌーチームが来られたとありますが、その後、拠点化になるような設備の整備など、具体的に進めていることはありますか。

**【企業局】**

昨年度、東京オリ・パラ事前キャンプが行われたということで、川口ダム湖においてウォータースポーツの拠点整備を進めています。具体的にはカヌー・SUPの発着場の整備を進めており、これまで発着場の護岸等の整備が完了しまして、今年度中にトイレの建替えと付近の駐車場の舗装を実施する計画です。併せて、那賀町などと協力してSUPインストラクターの養成を行っています。このようにハード、ソフトの両面から更なる観光振

興を図って参りたい。

**【委員】**

企業局自身がどの程度実施するのかという点があると思うが、観光部局と連携し県を挙げて推進していただきたい。

ところで、整備した拠点では宿泊は想定していますか。日帰りになりますか。

**【企業局】**

川口ダム湖をウォータースポーツの拠点化にということですので、那賀町及び県南地域の観光局とともに取り組んでいきたい。近くには宿泊することができるもみじ川温泉やキャンプ場もあるため、四国の右下観光局や那賀町、地元の団体等と協力・連携して、滞在型の観光を目指していきたいと考えています。

**【委員】**

社会貢献として、震災時の避難場所など、観光だけでなく地域の役に立つ取組はありますか。

**【企業局】**

新蔵町にある総合管理推進センターや川口ダム庁舎においては、震災時に避難してきた方々用として支援物資を用意しています。

**【企業局】**

補足としまして、和田島太陽光発電所では一部の太陽光パネルを津波対策として高台に設置しており、発電能力2,000kwのうち200kwを災害時の非常電源として活用できるようにしています。小松島市の避難訓練に参加し、住民の方々に周知しているところでございます。

**【委員】**

他に質問ありませんか。

議題4 その他

※質疑なし